

1. 事業説明シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業〔急傾斜地崩壊対策事業（国補）〕	事業箇所	荳崎市六山町久保	地区名	久保の2（クボノニ）	事業主体	山梨県																																								
(1) 事業の概要 ①課題・背景 久保の2地区は、山梨県荳崎市六山町久保に位置する急傾斜地であり、平成23年3月7日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。当該斜面は、平均斜面高93m、平均勾配34度の急傾斜地で、保全対象には人家6戸及び避難路である県道603号があり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響のある災害が発生する可能性があるため、事業の実施が急務である。 ②整備目標・効果 □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全人家戸数：住宅6戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：有（県道（避難路）） （保全対象＝人家6戸、県道（避難路）L=230m） ※評価基準値 □副次目標 ー □副次効果 ー				(3) 事業の妥当性評価				妥当	妥当でない																																						
				①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。 ②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 ③経済妥当性				○		○																																					
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">総事業費</td> <td style="width:15%;">200 百万円</td> <td style="width:10%;">工期</td> <td style="width:15%;">R5~R12</td> <td style="width:10%;">基準年</td> <td style="width:10%;">R4</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>167 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">547 百万円</td> </tr> <tr> <td> 建設費</td> <td>167 百万円</td> <td> 一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">148 百万円</td> </tr> <tr> <td> 維持管理費</td> <td>百万円</td> <td> 公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">26 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> 人身被害抑止</td> <td colspan="2">32 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td> その他※</td> <td colspan="2">341 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B/C</td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">3.3</td> </tr> </table> ※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。		総事業費	200 百万円	工期	R5~R12	基準年	R4	経済効率性	費用	167 百万円	便益	547 百万円		建設費	167 百万円	一般資産被害抑止	148 百万円		維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	26 百万円				人身被害抑止	32 百万円				その他※	341 百万円			B/C			3.3					
総事業費	200 百万円	工期	R5~R12	基準年	R4																																										
経済効率性	費用	167 百万円	便益	547 百万円																																											
	建設費	167 百万円	一般資産被害抑止	148 百万円																																											
	維持管理費	百万円	公共土木施設等被害	26 百万円																																											
			人身被害抑止	32 百万円																																											
			その他※	341 百万円																																											
	B/C			3.3																																											
				④事業実施・規模の妥当性 地形を考慮し、必要最小限の規模とした。		○		○																																							
				⑤整備手法の有効性 地形・地質状況から最も効果的かつ経済的な計画とした。		○		○																																							
(2) 整備内容 ①整備内容 崩壊土砂防止柵工 L=200m H=7.0m ②着手年度 令和5年度 ③完成見込年度 令和12年度 ④総事業費 約200百万円 （国費95百万円(4.75/10)、県費95百万円(4.75/10)、その他10万円(0.5/10)） ⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和5年度 地形測量・地質調査・詳細設計 15 百万円 令和6年度 用地測量・用地取得・立木補償 10 百万円 令和7年度 崩壊土砂防止柵工 35 百万円 令和8年度 崩壊土砂防止柵工 30 百万円 令和9年度 崩壊土砂防止柵工 30 百万円 令和10年度 崩壊土砂防止柵工 30 百万円 令和11年度 崩壊土砂防止柵工 30 百万円 令和12年度 崩壊土砂防止柵工 20 百万円 ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑥既整備内容・期間・事業費 未整備				⑥環境負荷等への配慮 環境負荷の少ない工法を採用する。		○		○																																							
				⑦事業計画の熟度 地元要望に基づいており、北杜市から受益者負担金の同意は得られている。		○		○																																							
				総合評価		[貢献度ランク：a]																																									
				(4) 事業位置図等 																																											

2. 添付資料シート

【平面図】

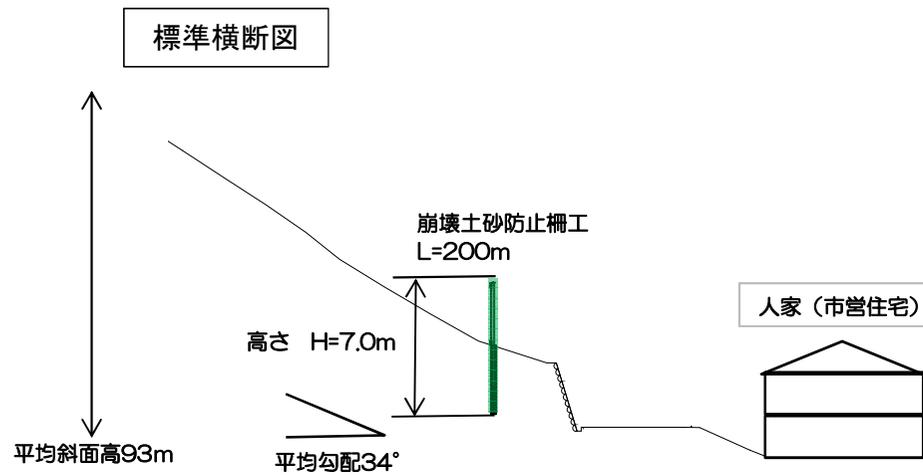


【写真①】



保全対象：人家

【標準横断面図】



【写真②】



避難路 県道603号

斜面状況